

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	適応指導教室				開始年度	平成6年度	
基本目標	学校教育の充実				終了年度		
担当課(局)	教育総務課	担当係	教育総務係	記入者	濱本 生代	評価者	永友 吉人
20年度決算	997	千円	21年度予算	1,002	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	72 千円		21年度人件費	73 千円		事業従事者数	0.01 人 0.01 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	各学校で行っている不登校児童生徒への指導の援助及び当該児童生徒が登校できるよう指導、援助を行う。
事業の内容	不登校など学校生活への適応に問題を抱える児童生徒について、学校及び保護者、関係機関と連携をとりながら、教育相談や適応指導、学習指導を行う。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 通級児童生徒数	まずは適応指導教室へ通級できるよう働きかけた。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 学校との連携	適応指導教室での状況及び学校での状況について情報交換し、連携を図る。
	2 適応指導教室での指導日数	学校への登校が難しい児童生徒へ適応指導教室にて学習指導、相談を行った。
	3 相談活動従事日数	児童生徒のより良い生活・学習環境についての相談業務を行った。

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	通級児童生徒数	目標値			4	
		実績値	人	6	5	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	学校との連携	目標値			12	
		実績値	回	66	11	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	適応指導教室での指導日数	目標値	日			150
		実績値		135	148	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	相談活動従事日数	目標値	日			
		実績値		20	15	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	義務教育期間の児童生徒の就学に関する事業であり、町で行うべき事業である。まずは学校での指導が第一であるが、学校へ行けない子どもを支援する場はほかになく、事業廃止はそれらの子どもたちの行き場所をなくすことになる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	適応指導教室での指導により自信を付けて学校への登校が可能になる子どももいる。 また、学校への登校はできなくても、適応指導教室での学習指導により、進学をすることができた子どももいる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	不登校の原因は子どもによってさまざまであり、実際に通級できる児童生徒への指導のほかに、学校との連携や保護者、関係機関との連携などその業務も多岐にわたるため、専門性や個々への対応を考えると指導員の増員を希望する。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	子どもによってさまざまな悩みや問題により不登校となっていくこともあることから、早い段階でそれらに対応できる専門性や知識を持った人の支援を受けることができることが望ましいが、身長に対応する必要があることや、そういった組織が現時点ではないことから、協働の可能性は低い。

事務事業名	適応指導教室	担当課(局)	教育総務課
-------	--------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	何らかの問題を抱える子どもたちに対しては、その事象に合わせてキメの細かい指導が必要である。この事業が決して質量的に最良とは未だいえないが、該当する子どもたちにとって、無くてはならないものであり、益々その必要性は価値観の多様化により増えていくものと思われる。義務教育を受ける権利を可能な限り保障する為にも事業の継続を求める。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎事業への取り組みについては必要と考えるが、その効果について、年間を通した数値の推移等を把握してもらいたい。
	コスト	現状維持	